

えくわい

立川と語ろう 立川に生きよう

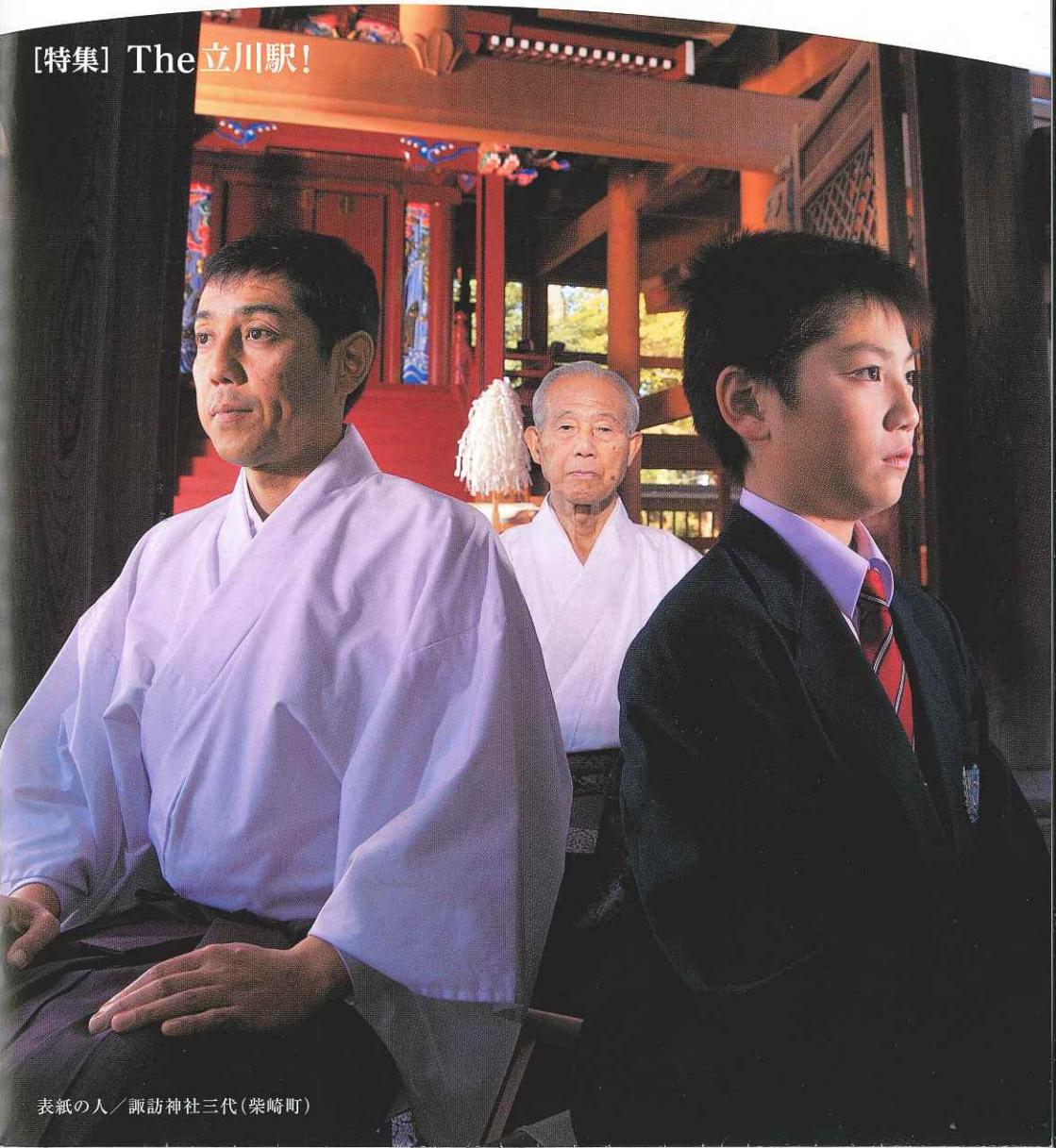
January 2013

Écoutez Bien Vol.31 No.338

1

[インタビュー] 最強市民ランナー 川内優輝さん

[特集] The 立川駅!



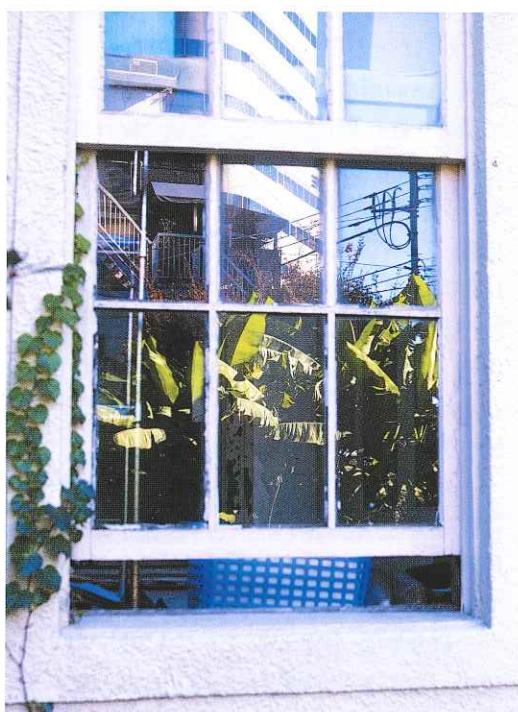
消える登録文化財

高松町にある旧梅田診療所は
平成16年に登録された国の登録有形文化財。
登録文化財の維持は難しい。
惜しむ声は止まなかったが、平成24年12月、その姿を消すことになった。

立川市の国登録有形文化財は2つ。1つは柏町にある中野家住宅主屋と蔵。そしてもう1つが今回取り壊された旧梅田診療所。解体で登録は抹消される。

旧梅田診療所は昭和4年に建てられた洋館だ。玄関前に立つシンメトリーが美しい。ダブルハングの格子窓やそこに絡まる蔦がレトロな雰囲気を漂わせている。梅田邸の魅力は建物だけに終わらない。庭の造りや植木の1本1本に、ゆっくり流れる時間や心豊かな生活が確かにそこにあったと偲ばれる。敷地内に住み建物を管理する梅田光則さんにうかがってみると、植木も解体時に全部ゴミとして処分するそうだ。「皆さんに差し上げたいとは思いますが、それも今の時代、勝手に庭から抜かれても物騒な話ですからね」と。おっしゃる通りで、すべて仕方のことだ。

登録文化財の維持保存は所有者の負担が大きく、個人ではとてもむずかしい。立川駅北口から数分。高層ビルの間にあったかわいらしい建物が消えていくのも、変わる立川の側面か。



挑戦! 見据えるのは世界

**箱根駅伝予選会のヒーローから市民ランナーの星へ
川内優輝さん**

えぐてびあんのインタビューを初めて受けてくれたのが平成21年3月。就職したばかりの頃だった。

誰もが知る”最強市民ランナー”となった今、何を語ってくれるのか。

平成24年10月20日。箱根駅伝予選会で学習院の応援に来た川内さんに歩きながら話を聞いた。

(インタビュー翌日、ちばアクアラインマラソンでは2位に10分以上の差をつけて優勝)

——明日「ちばアクアラインマラソン」ということで、調子はどうですか?

川内 まあ、まだ上がり切っていないので。福岡があくまでも目標です。

——今も本番がそのまま練習なんですね?

川内 はい。今までと同じようにやっています。まあ、3月(東京マラソン後)はやりにくいくらい部分もあったんですが……。

——聞く所によると、東京マラソン直後は応援も多くあったけれど、バッシングも相当ひどかったとか。

川内 あの頃はもう、本当に……自分としては切り替えようとしたし、実績をみれば仕方のないこと……。

——大変だったわねえ。

川内 記者会見を2度も開きましたからね。一度で勘弁して欲しかったんですけど。

——どうして2度開くことになったんですか?

川内 取材が来過ぎちゃって納まりがつかなかったんです。そのままやらないでいると、待ち伏せとかされかねなかったので。

——川内人気はすごかったですものね。今はマスコミの取材は?

川内 レースに関係ないものはほとんど断っています。

——自分では、当時オリンピックへの思いは?

川内 あのタイムを出せたらという憧れはある

りました。タイムが出なかったら、オリンピックに行ってもいい戦いはできないと思っていました。僕は中本(健太郎)さんみたいに1人では走っていけないので(笑)。

——学生の頃と、走っている顔が変わりましたね。自分が思っている以上に自信がついたのかな?

川内 そうですか? ありがとうございます。
——海外も行かれていますよね?

川内 オリンピックに行かなかったおかげで、いろいろ自由に行けました。ドイツとオーストラリアとブルガリアですね。シドニーは僕の海外初優勝でした。今思うのは学生の時に海外旅行をもっとしておけばよかったなって(笑)

——今は遠征、遠征?

川内 はい。遠征は海外旅行とちょっと違いますからね。エジプトへは1泊3日で行きます。着いた翌日にレースで、その日のうちに帰ってきます。

——それは大変だわ。仕事もあるのに。もともと公務員志望だったんですか?

川内 そうですね。実業団に入つてもよかつたんですけど、実業団に入つても、3年くらいやって公務員になろうと思っていました。

——それはなぜ?

川内 地域イベントとかに興味があって、

旅行も好きでしたから観光政策とかやりたいなと思って。

——今はマラソンのためとは言え、まったく違うジャンル(春日部高校職員)ですよね。

川内 違ったら違ったでやりがいはあります。教員とは違ったサポートができるのはいいです。僕が入った頃、学校がちょうど改革しようという時で教頭先生とか、とても頑張っていて。学校の雰囲気がすごく変わったんですよ。

——その教頭先生、3月にお話させていただきました。大変だったあなたのことをとても気にかけていらして、「男同士、語ってみます」っておっしゃっていたけど、まだ語っていないんですか?

川内 教頭先生、異動になっちゃったんですよ。

——あら~。公務員として上を目指して行くか、それともタイムを追うか、そこはいざれ川内さん本人が決めなきゃならないことだっておっしゃっていましたよ。

川内 そうですね。まずは来年、モスクワの世界陸上をやってみて、ですね。それで自信をつけてオリンピックが狙えそうならそうすればいいし、もう無理だなと思えば普通の市民ランナーで楽しく走り回ります。そういう意味では引退がないっていいですよ

ね。プロだと引退しなきゃならないから。

——公務員として上を目指す道は?

川内 はじめはそれも狙いたいと思っていたんですけど、今はもう少し陸上優先にしたいと思います。あと5年くらいはいけそうな気がするので。

——そうすると仕事が制約されるでしょ?

川内 そうなんです。今と同じ仕事をしていたら、出世コースからは外れますよね。

——出世レースから降りちゃっていいですか? 優秀なのに。

川内 いえ(笑)。陸上に一区切りつけてからどこまで挽回できるか。でも逆に言えば、出世はある程度挽回できますが、陸上は年齢がきたら挽回できませんから(笑)。挽回できる可能性って考えると、道は決って来ますよね。

この4年くらいで気持ちが変わりました。

だからといって藤原(新)さんのようにプロになるとか、そういうことはありませんが。

——そういう意味では、あなたの走りは人生そのものかな? 人について行って抜かす(笑)。

川内 ああ、走り方はそうですね。ラストスパートに行くまでは誰かについて行った方が、うまくリズムも合って、力も蓄えられて、そこからバーンと行けるので。それがうまくできたのが、大学2年の時、初めての箱根予選会。15kmまでついて行って、そこからドンと80人抜きました。

——気持ちよかったです?

川内 気持ちいいですよ、一方的に抜かして行くというのは。マラソンは粘っていれば、前から落ちてきますしね。僕にはそういうスタイルのマラソンが向いているんだと思います。あれが5000mだと、待っていても落ちてきませんから。

——最近、マラソンに箱根で活躍した人が登場していますね。

川内 一時期箱根出身者の世界代表者が減つたけれど、藤原さんも中本さんも拓殖大学で走っていますからね。

——あなたの場合は最初から箱根に出られないでいる学習院です。まずは予選会に出られなかつたら選抜どころじゃない。

川内 そうですよ。本当に、あの時は(笑)。前田君のタイムが…なんてことありましたよね。

——みんなのおかげですよね。あなたのた

撮影:榎本典泰



とは思っていないから。川内さんのモチベーションって?

川内 いろいろ挑戦して広い世界を知りたいって、それだけです。せっかくここまでいたから、挑戦して日本の陸上界を変えたい。——どう変えたい?

川内 やはり挑戦が許される環境に変えたいです。制約に縛られて挑戦できない人が多いので。このレースに出たいと言つても、いやいやそれはもう少し力をつけてからとか、マラソンにもつといっぱい出たいと言つても、マラソンは1年に2回くらいが限度だとか。ぼくみたいなめちゃくちゃな人がもっといいのかなと思うんです。

あ、日体(日体大)がやっぱり強いですね。このまま歩いていても間に合いますね。1kmを3分で走つてみると計算すれば、間に合います。学習院はそれよりもっと遅いから…、でも他の大学も見たいし(笑)。今日は僕の一番下の弟も出ているんです。

——川内さんは立川のコースをよく知っていますね。

川内 試走も含めたら数えきれないくらい来ていますから。

——コース変わったんですよ、ご存知ですか?

川内 はい。僕は、外を長く走るより公園を2周した方がいいと思うんです。記録が出るような平坦なコースを選ぶのでしょうか? 立川が好きな学生が多いのでレースを立川で維持するなら、やはり迷惑をかけないコース選びが必要だと思います。アップダウンのある公園は波乱もあって面白いと思いますけどね。

街を歩けば
出会いの輪を広げて

The 立川駅!

総力で「安全第一」 そこにあったのは、真剣、集中、笑顔だった

駅はその街の玄関だ。安全に利用してもらうことを第一に、優しさのこもったおもてなしを提供するのが立川駅。

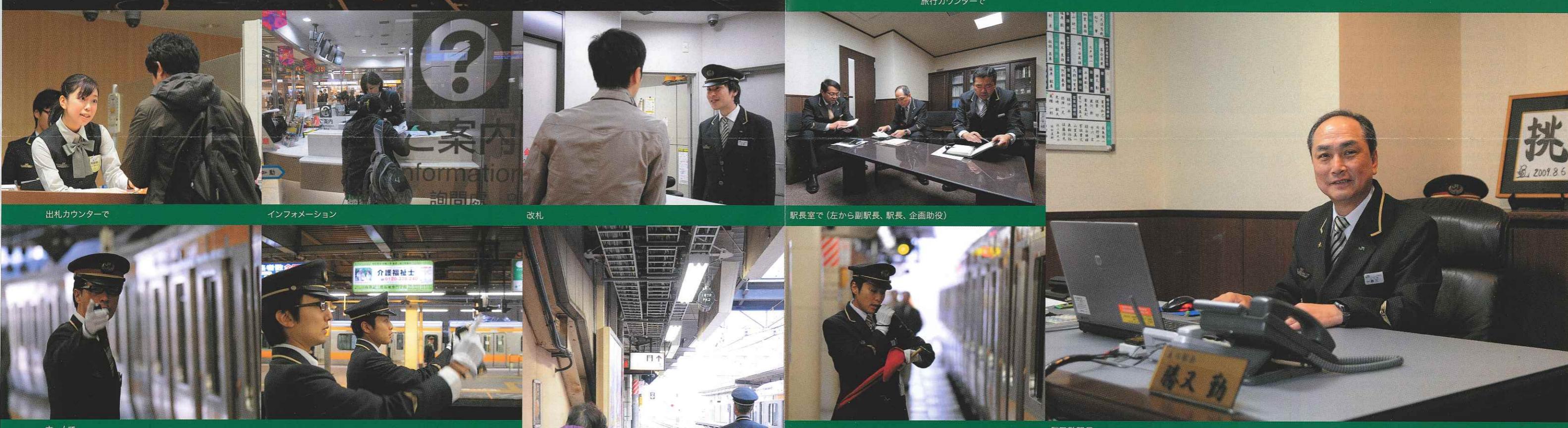
立川駅利用客数は多摩地域最大。自由通路を東西に横切ることが難しい。

それは単に人が多いだけでなく、人の流れの速さが他駅とは違うのだ。

ここで半日、JR 東日本の制服を追ってみた。一緒に過ごしてみると、制服の一人ひとりがクローズアップされてくる。

見えてきたのは、職務意識の高さであり、自らのやるべきことをそれぞれがしっかり遂行している姿だった。

何事もない一日の陰には、制服を着た人たちの努力がある。



えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店あります。
今月は 錦町・柴崎町のお店です。

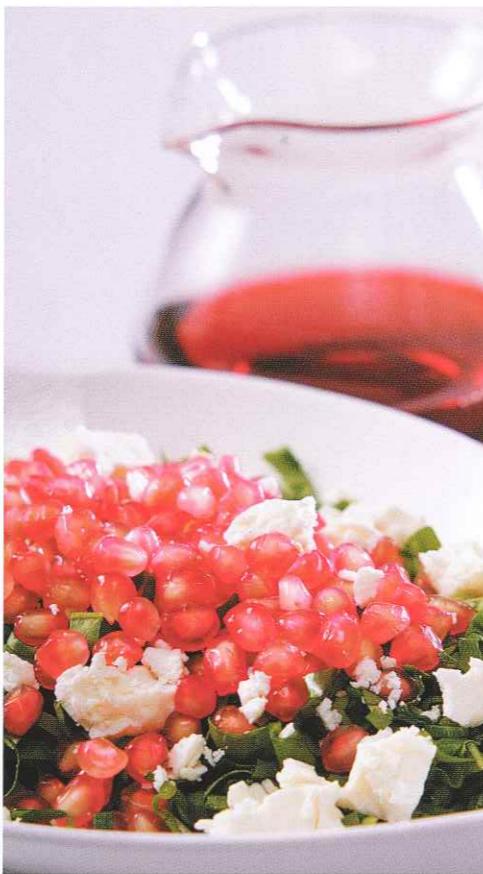
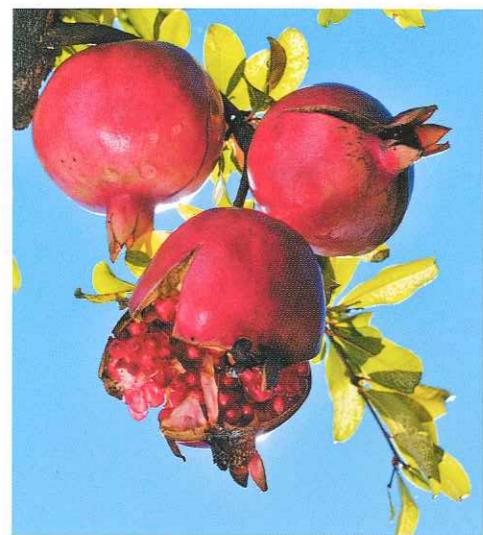
錦町	にしやま薬局	525-9212
	たましん 錦町支店	528-0511
	そば処 高尾亭	522-2710
	Natural Food Restaurant シエナ	529-5921
	エステランテ ロズまり	529-3037
	リストランテ ラ・ボボラリータ	528-5410
	Garden&Crafts Cafe with 多根	0120-412-877
	社会福祉法人 至誠学舎 総合老人福祉施設 至誠ホーム	527-0031
	いき福祉相談センター 至誠介護相談センター	527-0321

柴崎町	諏訪神社	522-2968
	毎日新聞社グループ(株) 毎日広告社	522-6121
	バスターイーノ はしや	521-3386
	高島ビル	526-0111
	Hair Room MOON ZETTON	523-0961
	南武堂剣道具店	527-0197
	PIZZERIA CANTERA NAPOLETANA	525-6290
	おしゃべりカフェトーカ・スペース	527-1636
	(株)一心堂	527-3777
	すがの歯科	540-2675
	中華ハルビン	527-1809
	紙匠 雅	548-1388
	あすなろクリニック	529-2756
	bottega al forno	595-9071
	ピストロすぎ浦	525-9929
	入船茶屋	524-6266
	カレー工場 Haji ハイジ	548-0812
	チーズファンデュと欧風料理 クワトロ	528-2983
	串揚烹煮トントン	524-4521
	Pasta Frolla 立川南口店	540-8033
	レンタルスペース&ギャラリーカフェ 夢工房	843-7818
	バセリドゥーワーク	525-8486
	甘味処 石や	524-0862
	不動産コマツホーム	525-5811
	芹沢ガラス店	522-3065
	かみゆい処わ	522-8202
	ファッショナハウス ホマレヤ	525-2788
	中国四川料理 山城	512-8356
	酒歩たから	528-1510
	服地・洋裁材料 藤レディース	528-5101
	純中国料理 北京大銀	522-6393
	天婦羅・うなぎ 良銀	522-6700
	レンタルボックス きらら	522-3913
	生活雑貨 EAST END	523-9636
	特むし鉢茶・海苔 菊川園	526-2035
	ジョイフルプラザ	0120-29-2775
	めん心 堤屋	525-6602
	hocco* cafe	595-8379
	日本空手道 佐藤塾	548-7460
	(株)立川紙業	527-6111
	中華小皿料理 得得屋	528-1060
	Fashion You Me	523-1640
	手焼せんべい 雷神堂	521-5705
	石原薬局	523-4067
	B級食堂 相模屋	525-9478
	お菓子工房 ティーコージー	525-6366
	サイクルハウス 輪轍館	522-8100
	ESBI 立川南口店	526-2947
	いなげや 立川南口店	526-2947
	(株)正盛堂	522-2328
	いなりし・のり巻きす 松月	523-4758

街の話題

食べてみました

柴崎町にとっても立派な実をつけるザクロの木を見つけました。持ち主の許可を得て撮影し、さらにその実までいただくことができました。Facebookを通してドイツの方からヨーロッパでの食べ方を教えてもらい、サラダにしてみました。宝石が散りばめられたような美しいサラダ。甘みと酸味のバランスがよく、とてもおいしかったです。(レシピはえくてびあんのサイト「多摩てばこネット」に掲載中)



火災予防運動は春秋年に2回です

立川消防署 秋の火災予防駅前広報キャンペーンにキュータ君が登場しました。キュータ君、高校生やお子さん達に大人気。キュータ君だけじゃなくて、火災予防もよろしくね!ということで、また春にもキャンペーンがあります。11月14日には火災予防協力者に対する表彰も行われました。今回の表彰は団体、個人など122組。災難は忘れた頃にやってくる…日々の防災意識が重要ですね。



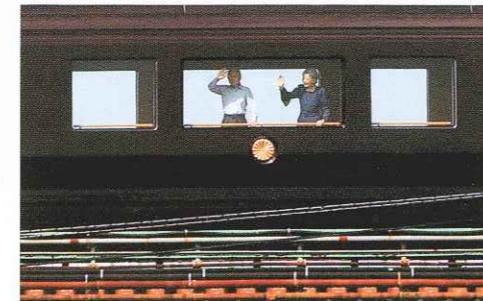
撮影 小俣孝

サンカメラさんが長い歴史を閉じました

立川駅南口からすぐのところにあったサンカメラ。11月27日、60年に及ぶ長い営業を終了、お店を閉じました。えくてびあんにもたくさん写真を提供して下さいました。これからは自由に好きな写真を撮るそうです。またいいお写真見せてくださいね!



撮影:高田亮道さん 多摩川鉄橋を渡るお召し列車



jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我淨〉

スカイバーフェク TV: 216ch
マイ・テレビ アナログ: 11ch
デジタル: 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp



表紙の人

諏訪神社 名誉宮司 高橋康雄さん
宮司 重雄さん 佑豪君

2011年に鎮座1200年を迎えた諏訪神社。現在の宮司 重雄さんで17代目になります。初詣やお祭り、七五三で氏子たちはお世話をしますが、気がつかなくても神様はいつも見守って下さっています。1月号の表紙写真と諏訪神社については、えくてびあんのサイト「多摩てばこネット」をご覧ください。

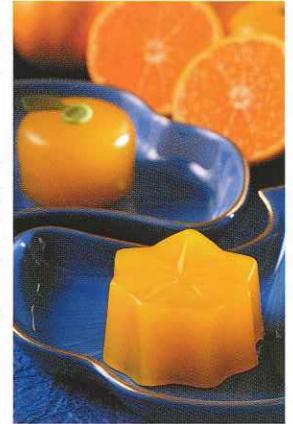
豊田車両センターまつり

朝のうちに曇っていた空もすっかり晴れた11月24日。JR東日本八王子支社が沿線や近隣の皆さまに日ごろの感謝を込めて、「豊田車両センターまつり」を開催。日野市の後援もあって、オープンの10時には、鉄道グッズ記念弁当販売やミニ新幹線乗車コーナーは長蛇の列。起床装置体験コーナーも整理券配布終了。カメラ持参の大人は車両展示コーナーで思い思いのカット撮影など、大人気のイベントとなりました。



「多摩の味覚」が大人気!

えくてびあんでは地産地消の楽しいアイデアとして、今までにも稻城梨や東京ゴールド(キウイ)などを利用して、立川の飲食店にオリジナルレシピを考案、販売していただけています。今回は武藏村山で収穫された村山みかんを使った羊羹、「和洋菓子たちばな」さんに作って頂き、12月1日に販売してもらつたところ、あつというまに完売!香り高く、さっぱりした甘みに、羊羹が苦手な方でもおいしく頂けたと好評でした。詳しくはえくてびあんのサイト「多摩てばこネット」で。



「多摩てばこネット」のQRコードです。

月刊えくてびあんでお知らせしきれなかった話題や写真を、Web版えくてびあんに掲載。立川に関わる事柄を立体的に届けします。どうぞお楽しみください。



宴会ならココ!

おじゃましま～す! [10]

天婦羅・うなぎ 良銀 総本店

少人数から100名様まで

立川駅南口から徒歩3分諏訪通り商店街にある老舗です。写真は宴会メニューの一部から前菜とうなぎ。うなぎも実は脂ののった冬がおいしい。少しお値段も下がってきたそうで、嬉しいじゃありませんか。宴会メニューにプラス500円で注文できます。献立や料理の組み合わせ、予算はもちろん相談に応じてくれます。畳の広いお部屋から、こじんまりと



椅子の個室まで、用途に応じて選べます。

良銀さんは宴会だけじゃなくて、ランチもぜひ。月替わりの定食は旬の素材が楽しめます。定番の天婦羅やカツ、チキンカツもおなかいっぱい大満足。しじみのお味噌汁を一口すると、やっぱり落ち着くんですね~。そしてこんなメニューあったの?っていうのが「ぶっかけ」。讃岐うどんです。おかみさんが讃岐の出身、そこはもう本場です。熱々うどんに薬味を入れて、サッとタレをかけていただきます。おいしいんだな~、これが和食をいろいろ楽しめる良銀さん、でした!



〒190-0023
立川市柴崎町2-5-3 良銀ビル
042-522-6702
<http://www.yoshigin.com>
営業時間 11:30~14:00
16:30~22:00



えくてびあん ◎

1月号 第31巻 通巻338号

平成25年1月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082
FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男
(WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。

Écoutez Bien January 2013 No.338



『アウトローのO』

「キンジー・ミルホーン シリーズ」 スー・グラフトン著

タイトルにアルファベットが付くこのシリーズ小説の主人公は、30代でバツ2の女性探偵、キンジー・ミルホーンです。ひとり暮らしの彼女はほとんど料理をせず、食事はシリアルやハンバーガー、外食ばかり。しかしそんな彼女も食事を作ることがあり、作品中には印象的なサンドウイッチがいくつか登場します。

彼女の好きなサンドウイッチ ベスト3のうち、一番のお気に入りはピーナツバターサンド。普通じゃないかと思いますが、なんとそこにはキュウリのピクルスがはさまれます。日本人にはとても思いつかない組み合わせですが、キンジーはこれが大好きな様子で、たびたび登場します。これと比べると、

2位と3位はマトモな感じでおいしそうです（作品の中で、ぜひ探してみてください）。

パソコンも携帯電話も出てこない、このアナログな小説の魅力は、淡々とした文体と簡素な表現、そしてキンジーのクールなキャラクターにあると思います。素っ気ない書き方ながら、サンドウイッチやハンバーガー、アップルパイのおいしそうなこと！いつも次回作が出る前に、例のピーナツバターサンドを試しに作ってみたいな……と思いながら、なぜかまだ実現できずにいます。

八子美穂（立川市）